

モルガン・スタンレー、日本法人の CEO 交代について 発表

ジョナサン・キンドレッドが退任、田村浩四郎(田村アルベルト)が後任に

[東京、2019年2月5日] モルガン・スタンレー(NYSE: MS)は本日、ジョナサン B. キンドレッドが本年4月1日付でモルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社およびモルガン・スタンレーMUFG証券株式会社の代表取締役社長から退任すると発表した。後任には、現在日本で株式統括本部長を務める田村浩四郎(田村アルベルト)が就任する予定である。

キンドレッドは、2006年にモルガン・スタンレーの日本事業における代表者(CEO)に就任し、2008年の同社と株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)との戦略的提携の実行や、2010年5月の両社の日本における証券合併事業の発足などにおいて、重要な役割を果たした。証券合併事業の発足当初から、モルガン・スタンレーMUFG証券株式会社(MSMS)の代表取締役社長を務めている。キンドレッドは、今後もシニア・アドバイザーとしてモルガン・スタンレーに残ることに合意している。

モルガン・スタンレーの会長兼最高経営責任者(CEO)であるジェームス P. ゴーマンは次のように述べている。「ジョンは、MUFGとの戦略的提携の成功において重要な役割を果たし、モルガン・スタンレーの日本におけるビジネスの発展と成長のためにかけがえのないリーダーシップを発揮してくれた。我々はジョンの約36年間にわたる会社への献身に深く感謝している。」

田村は1996年にモルガン・スタンレーに入社し、株式部門における様々な管理職を担ってきた。2008年4月からは、日本の株式統括本部の統括責任者を務めている。MSMSのマネジメント・コミティのメンバーであり、MSMSおよびモルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社の取締役を兼任している。

モルガン・スタンレーのコラム・ケラハー社長は次のように述べている。「アルベルトの持つ豊富な経験、リーダーシップならびに顕著な実績から、彼が我々の日本事業を更なる成功へと導いてくれると確信している。」

モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社について

モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社は、モルガン・スタンレーの連結子会社であり、債券・株式のセールス&トレーディング、資本市場業務及びリサーチ業務を含む幅広い金融サービスを政府、事業法人、機関投資家に提供している。モルガン・スタンレーMUFG 証券株式会社は、モルガン・スタンレーと三菱 UFJ フィナンシャル・グループによる日本における証券合併事業の開始に伴い、2010 年 5 月 1 日をもってモルガン・スタンレー証券株式会社から社名を変更した。

モルガン・スタンレーについて

モルガン・スタンレーは、投資銀行、証券、ウェルス・マネジメント、資産運用事業において多岐にわたるサービスを提供する世界有数の総合金融サービス企業である。世界 41 カ国以上のオフィスを通じて、法人、政府、機関投資家、個人に質の高い金融商品およびサービスを提供している。同社に関する詳細については www.morganstanley.com をご参照ください。

###